

(第43号)

昭和32年6月10日発行

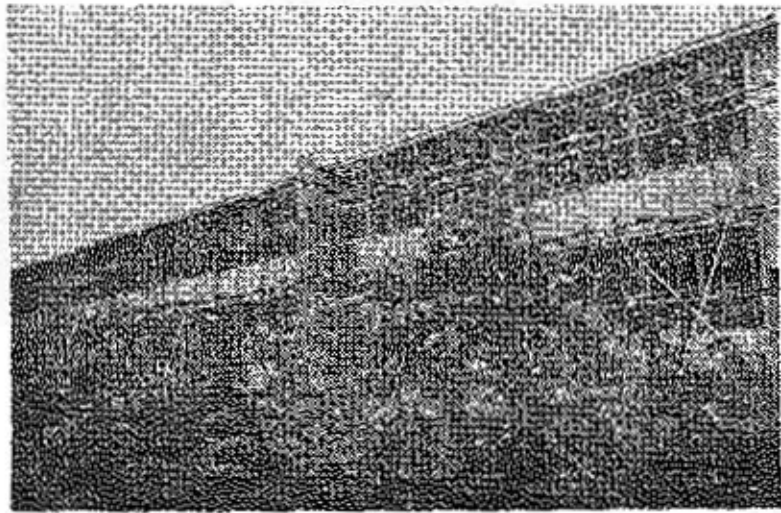
編集：福井県勝山市役所
集：船務課



お米屋さんの登録替

6月18・19日の二日間

御着望の方は7日箱課又は出回所へ
印を持って手続をすませて下さい



二学期からの開校を目標に建設を急いでいた北部中学校第一期工事はこのほど完成、引籠ぎ付属建築物の建設にとりかかっています。

第一期工事は建坪延約五百坪木造二階建のモダンな校舎で、この建築の特徴は、屋根は除雪の手数を省くためアルミ瓦でふき、床は二重張りにし、一、二階洗面所を設け、校舎の内外壁は丈夫なスレート(セメントでかためた厚い板)張りという全く近代建築の粋を集めたりつばなものです。

この校舎は普通教室内十二、職員室、応接室、放送室、図書室、書庫に使われることになっています。

第二期工事は生徒玄關、炊事室、小使室、保健室、食堂、寄宿舎、便所を七百五十五万円(建築延百七十二坪)で八月いつばいに完工されます。

このようにしていよいよ待望の北部中学の九月開校の夢が実現されるわけですが、これについて三中学の生徒から次のような作文を寄せられました。

九月開校をめざし

北部中学の建設進む

すでに第二期工事に着手

本日に立派な学校!!

鹿土中一年 下牧保子!! この間去年の秋から建て始めた北部中学校を見たい。秋から建て始めた北部中学校を見たい。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

ちの学校とくらべて教室が非常に出る。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

が、大いなる前進。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

ろ、市長さんや市の議員さん、どなたも秋から建て始めた北部中学校を見たい。

つと、早くこんなよい学校に入れよう。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

と、勉強します。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

一日も早く開校を

北郷中二年A 水上哲夫!! 僕が小学校に通っている頃、計画されて九月には開校する。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

動い、限りなく新しい校舎。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

日を待つ。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

北中の伝統を築かん!!

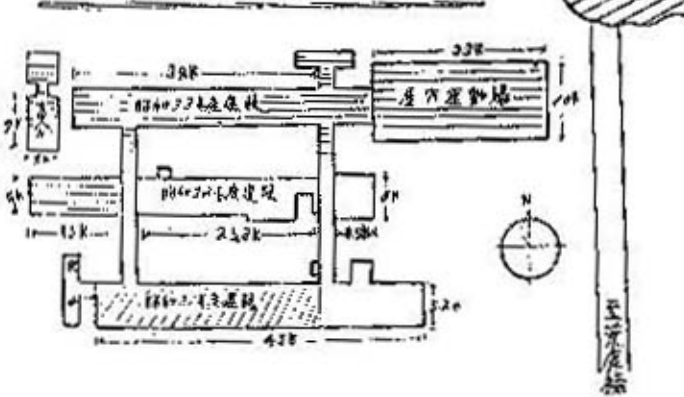
鹿谷中三年A 宮川伸子!! 私達は、鹿土・北郷・鹿谷三中学生が一歩ずつ、秋から建て始めた北部中学校を見たい。

勉強、近代的な校舎。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

命、近代的な校舎。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

校の伝統を築きあげていきなさい。秋から建て始めた北部中学校を見たい。

北部中学校建築校舎略図



とじこんでましまししょう

子供の希望を聞く

多かつた「遊び場がほしい」

原爆実験反対も

児童福祉週間の一行事として、市福祉事務所では市内小中学校で「子供の希望を聞く会」を催しました。

どの会場でも常に活発で大人にはずいぶん痛い意見やら希望が繰出して出驚された児童委員や係員をクジクジさせました。

みなさんも、この純真な子供の声に耳を傾けて、子供が幸福になるよう心がけてやって下さい。

お父さんやお母さんに「対する希望

- ◆ 他人の前で怒るのはやめて下さい。
- ◆ 理由もないのに叱つたり、無理な仕事を押しつけないように。
- ◆ 学校でいる金は快よく出して下さい。
- ◆ 忙しいときでも、せめて二時間位は勉強させてほしい。
- ◆ 子供の会合には是非出席させて下さい。
- ◆ 運動選手には放課後の練習時間を与えてほしい。
- ◆ 勉強机を買ってほしい。
- ◆ 一般の大人に対する希望
- ◆ 犬は必ずつないでおいて下さい
- ◆ 道路に材木などをおかないように。
- ◆ 自転車の無灯火はやめて下さい
- ◆ 大人は平気で左側通行しているが右側通行を助行してもらいたい。
- ◆ 映画館や車内でのタバコは絶対にやめてほしい。
- ◆ 道にタン・ツバを吐くような不潔なことはしないでほしい。
- ◆ 子供の前で変な話はやめて下さい。
- ◆ 子供の会合の場所に道場やお寺を開放してほしい。
- ◆ 火の用心にまわつているとヤカマシイとどなる大人がいるがもつてのほかだ。
- ◆ 原爆実験は絶対にしないで下さい。

い。

市役所に対する希望

- ◆ 長山公園に子供遊園地を設けて下さい。
- ◆ 部落電話を開設してほしい。
- ◆ 道路の修繕をやつてほしい。
- ◆ 学校図書をもつと買つて下さい
- ◆ 市内全部にバスが通行するよう取計らつて下さい。
- ◆ プール(水泳場)を設けて下さい
- ◆ 弁天水泳場に公衆便所をつくつて下さい。
- ◆ 又水泳中は川上で汚物を洗わないよう市民に注意して下さい。

農繁期に備えて

季節保育所

市内二十二ヶ所に

六百余名

クク、と蛙が鳴き始めますと農家は猫の手も借りたいほどの忙しくなつてきます。

このようなときには、兎角農家の方はその日その日の仕事に追われ充分子供さんがみられなくなり、ますので、市福祉事務所では農家の人々と話し合つて次のように季節保育所を開設することに決め、既に五月一日から開所されています。



今年も去年(十九ヶ所、四百七十三人)に比べて多く(二十一ヶ所、六百三十四人)農家の方々にとつては全く大助りのことだそうです。

多くなつた理由については、保育所に預けておけば安心して仕事ができるという点は勿論のことですが、この僅か二ヶ月の保育所生活で子供さんのしつけがよくなるという点も見逃すことはできません。このことは今年の小学校の入学児童が実証しているといわれています。こうなりますと、保育所という名にもふさわしくなつてまいります。つまりたゞ単なる託児所ではないということになります。何れにしても福祉事務所としましては、保育所の開設を児童福祉という目的から奨励しておりますので、これらの点について御相談の向がございましたら民生課まで御出下さい。

保育所の開かれている状況

鹿谷町	四ヶ所	百十二人
野向町	三ヶ所	九十人
蓮羽町	五ヶ所	百十八人
荒土町	一ヶ所	二十人
北谷町	二ヶ所	六十五人
村岡町	二ヶ所	百十人
平泉寺町	一ヶ所	六十人
旧勝山町	三ヶ所	五十三人
計	三十一ヶ所	六百二十八人

こうして丈夫な

歯にしましよう

六月四日から十日まで歯の衛生週間です。歯は健康な体を築く礎です。みなさん、今一度自分の歯を鏡でみて下さい。子供さんの歯をみてやつて下さい、そして歯にホラ穴があいてないか、虫歯がないか、よく磨かめてみて下さい。もし異常がありましたら、早目に歯医者さんにみていただきましょう。折角の母さんから頂いた丈夫な歯でも後からの不衛生で悪くなります。歯をいろいろな病気がから守るには次のような点に気をつけることです。(三面を続く)

生活にお困りの人
体の不自由な人
不幸な児童

の相談相手となる

民生委員は次のとおりです

氏名	住所	担当区域	氏名	住所	担当区域
天立 誠	下元祿 一、二、四	前田吉左エ門 寺尾 寺尾、黒原	藤原 湯東	野東野	
篠河 蘭英	下元祿 五町内	笠松 勝栄	北郷町 伊知地七町 内、十二		
田村 由松	下元祿 六、七	近藤 みつる	伊知地 伊知地一、六		
森下 いね	下元祿 二区一、三	竹生 まつを	坂東島 坂東島		
佐々木 建証	下元祿 四、五	藤原 湯東	野東野		
御内 初枝	上元祿 一、四	中村 武次郎	森川 森川、西妙金		
坪内 斎次郎	上元祿 五、八	木下 泰男	伊知地 上野、岩屋		
多田 清市	立石 立石	村井 一之	楢會谷 新町、志原		
松村 すな	立川 立川	吾田 正二	鹿谷町 出城、志田		
中村 千代	郡 上袋田 郡	石田 己代治	東邊羽 西邊羽		
信本 マシノ	下袋田 下袋田	山内 亨	本郷 本郷		
笠羽 仙太郎	上後 上後	川口 みき	本郷 西光寺、杉俣		
渡見 瀧治	中後 中後	石田 喜太夫	北西保 北西保		
岩佐 静男	下後 下後	牧野 ツギ	保田 保田		
笠川 市三郎	下長瀬 上、下長瀬	中道 久	矢戸口 矢戸口		
川上 とみゑ	富田 富田	山内 怜	細野町 細野町		
大滝 さく	沢 沢一、四	鵜瀨 晃	北新在家、市		
北川 喜代治	沢 五、七	岸本 慈了	別所 別所、細野口		
石 敏 健蔵	芳野 上芳野、芳野	久保 久隆	伊波 伊波、妙金島		
山田 甚祐	猪野 猪野毛屋	玉木 透	松ヶ崎 松ヶ崎、新保		
伊藤 國男	高島 高島、西高島	木下 康子	松田 松田、田名郡		
鳥山 六忠	若猪野 若猪野	田中 光栄	北宮地 北宮地、堀名		
丸山 滋雄	片瀬 片瀬	上山 継次	平泉寺 平泉寺、大渡、竹尾		
笠川 少き	村岡町 滝波	森 宗	光ヶ野 光ヶ野、上野		
多田 井藤四郎	郡 五本寺	谷口 長太郎	入矢谷 入矢谷、池ヶ		
中村 りん	猿倉、三谷	田島 仁太郎	平泉寺 川北		
松村 明	浄土寺 浄土寺	池端 うめ	仲野 仲野、赤尾		
下牧 八十八	初神谷 初神谷、初神谷	佐々木 マツイ	平泉寺 川南、中出		

氏名	住所	担当区域
松村 藤左エ門	比島 比島	比島
朝日 知子	蓬生 蓬生、北山	蓬生、北山
酒井 清	大袋 大袋、新道	大袋、新道
鳥山 芳子	下荒井 下荒井、傍崎	下荒井、傍崎
竹内 よみを	野向町 龍谷、竹林	野向町、龍谷、竹林
大谷 与治右エ門	牛ヶ谷 牛ヶ谷	牛ヶ谷
杉本 時海	横倉 横倉	横倉
西谷 秀恵	桑師 桑師、神谷	桑師、神谷
山口 ヒデノ	深谷 深谷	深谷
藤井 玉枝	聖丸 聖丸、野津又	聖丸、野津又
石井 千代	北谷町 中尾	北谷町、中尾
斎藤 弥市	河合 河合、北六呂師	河合、北六呂師
小林 友枝	木根橋 木根橋	木根橋
川上 与吉	小原 小原	小原
佐々木 やす	谷 谷	谷
横平 源右エ門	中野保 中野保	中野保
安岡 久作	杉山 杉山	杉山

◆なんといましても、丈夫な歯
はお母さんのお腹の中にいるとき
が一番肝腎です。妊娠中はカ
ルシウム・ビタミンDの多い食物
(小魚・乾魚・牛乳・海苔類)
干しいたげなどを十分とつて下
さい。

◆子供可愛さのあまり甘いもの
を与えず、ぬよう注意して下さい
朝起きたときははららん、寝
るときも歯磨きを忘れずに、又食
後のウガイも習慣づけるように
◆歯の発育に必要なカルシウ
ム・ビタミンDの食物をとるよう
にして下さい。

この歯を守る週刊の行事として
次のとおり母と子のよい関
係が行われますので、該当され
る方はどしどし応募下さい。

主催 厚生省 読売新聞社

該当者 昭和二十七年一月一日か
ら今年十二月三十一日迄
の出生児とそのお母さん

申込先 勝山保健所、市衛生課
又は勝山歯科医師会

締切 六月二十日

その他くわしいことにつきましては
前記の申込先でおたずね下さい。

御協力ありがとう

道路愛護運動の 実績まとまる

なおされた 道路は延十万米

勝山市の勤賑であり、県
の静寂といわれる市道と県
道の愛護運動が四月いっぱい、市
民のみならずの御協力のもとに行
われました。この実績を建設課で
集計してあります。このころこのほ
ど掃りましたので御知らせかたが
た厚く御礼を申し上げます。

これによりますと、道路の修繕
や砂利入れなどによつて、なおさ
れた道路は、なんと九万九千四百
五十メートル(約二十五里)この
うち市道がその三分の二にあたる
六万二千三百五十メートルとなつ
ています。

そして協力して下さった人々は
二千二百九十五人(男一千七百六
十八人、女五百二十七人)同じく
協力車が紙トラック四十六台、小
型三輪車五十五台、このほか砂利
なども提供していただきました。

このようにして市民のみならず
はもろろん、市内建設業会、交通
関係業者などの御協力を得て、道
路が大へんよくなりました。



特に本市のように雪が多く、そし
て雨が多いところでは尚更このこ
とがいえるのじやないでしようか
たんばの除り水を道路に流したり
溝がつかまつて水が溢れている場合
ちよつとした心で道荒れを防ぐこ
とができます。またこのようなど
ころを発見したら建設課か土木出
張所へ御連絡下さい。

さようなら尺貫法 三十四年から

メートル法に統一

わが国の広さ・長さ・容積を
計る単位は昭和三十四年一月一日
から計量法の規定によつてメー
トル法に統一されることになりま
す。現在なお尺貫法およびヤード・
ポンド法が相当使われております
が、今年度から各官公庁では取引
又は証明上の計算は原則としてメ
ートル法を使用することになりま
した。

昭和三十四年一月一日以降は強
制的に取引又は証明上の計量に限
つて、このメートル法の規整を受
けることになっていきます。

卓球勝山チーム

県代表に選ばれる

去る五月二十六日高志高校体育
館で第十回硬式卓球選手権、兼ね
て第十一回全国都市対抗県予選大
会が勝山市チームほか二団体、四
十五名の選手が出場して行われ、
勝山市チームが武生市チームを4
1-2と降し、晴の県代表に選ばれ
六月三十日午前九時から当市勝山
中学で行われる北陸予選大会に駒
をすめることになりました。

筒井・浅野	2	0	村上・吉田	6
佐藤	2	0	内藤	6
梅田	0	2	矢敷	6
筒井	2	1	辻本	6
中村	2	0	織田	6
京藤	0	2	加藤	6
勝山市	4	1	武生市	6

振わなかつた勝山市チーム 第二回県下都市対抗体育大会

去る六月一、二日の両日第二回
県下都市対抗体育大会が当市にお
いて開催されましたが、勝山市チ
ームは市民のみならずからの熱心
な応援にもかかわらず、全種目に
わたつてH頃の力を充分出しきれ
ず敗退。

特に昨年北陸三縣都市対抗で優
勝したソフトボールが初戦で当大
会において優勝した福井市チーム
に13-5と大差で取れたのは全く
意外でした。本大会のねらいは県
下七市の職員の親睦と体育の向上
にあるとはいふものの、やはり試
合に勝つということも大事でしょ
う。よくネット裏や応援席からグ
かつちやま市はナンチュウコツチ
ヤクと耳に痛い言葉を頂戴して選
手達もこれではすまんぐと埼玉
重米を期して毎日六時から秘練習
を続けることにしました。どうぞ
来年を……。

市政だより

- 五月六日 民生委員協議会 女神川
水利権に関する打合せ
- 七日 子供希望を聞く会
- 九日 役光協会打合せ
- 十日 日赤社員募集打合せ
- 十日 社会教育委員会
- 十日 市議会全議員協議会
- 十一日 優良児十四名表彰
- 十四日 狂犬病予防注射と犬の登
録受付始まる
- 十五日 区長連合会理事会
- 十六日 新農村事業説明会
- 十七日 芳野原養鶏講習会
- 十八日 市議会産業経済委員会
- 二十四日 明るい店と橋をつくら
うと関係者が集つて市照
明研究会設立打合せ
- 二十五日 市議会全議員協議会
- 二十七日
- 三十日 公民館職員会議
- 六月一、二日 第二回市下都市職
員体育大会
- 三日 保育所の園児健康診断
- 五日 市庁舎建設問題について
市議会全議員協議会
- 五日 市議会産業経済委員会協
議会、同建設委員会協議
会ニジマスの養殖(北街
町一万匹鹿谷町五千匹と
黒川へ一万匹放流)
- 六日 畜産関係事業実施打合せ